



埼玉県農業大学校

Saitama Agriculture Management Junior College

College Guide



新時代の農業を担う！！

埼玉県農業大学校は、県民の農業及び食料に関する理解を深めるとともに、農業及び関連産業の担い手を養成することを目的としています。

農業経営に必要な
技術と知識を備えた
実践力のある人材
を育成する。

グローバルな視点
と企業的経営感覚
を身につけた人材
を育成する。

地域農業の
持続的発展を
けん引するリーダーを
育成する。



統合環境制御によるハウス管理



先進農業技術研修

教育方法

- 1 課題解決型学習を基軸として、実践教育を強化する。
- 2 講義、実習、農家研修を効果的に組み合わせて各人の能力に応じた教育を行う。
- 3 農業法人経営者、流通販売企業家など第一線の外部講師を活用する。
- 4 農業経営体育成のためのカリキュラムを編成し、必要な免許・資格の取得を支援する。



トラクター実習



外部講師の講義

大学校の組織

管理・研修部

学校管理や研修・就農支援、学生全般の業務を行います。

総務・業務担当

農業大学校の庶務全般と授業料や奨学金に関する事務、施設管理業務と学生食堂の管理を行います。

研修・就農支援担当

学生や県内農業者を対象とした農業機械技術者養成の研修、学生の就農支援に関する事務を行います。

入試・教務調整担当

学生募集や入学試験の実施、学生教務事務全般を行います。

養成部

各専攻に担任を配置し学生指導を行います。

2年課程（4学科6専攻）

- 野菜学科
(施設栽培専攻、露地栽培専攻)
- 水田複合学科
(水田複合専攻)
- 花植木学科
(花き専攻、植木造園専攻)
- 酪農学科
(酪農専攻)

1年課程（1学科2専攻）

- 短期農業学科
(短期野菜専攻、有機農業専攻)



特典

1 専門士

2年課程卒業生は、「専門士」の称号が付与されるほか、人事院規則により「短大二卒」相当とみなされます。



2 資格 (植木造園専攻)

花植木学科植木造園専攻の学生は、2級造園施工管理技術検定の受験資格の実務経験年数が短縮されます。



3 資格 (酪農専攻)

酪農学科酪農専攻の学生は、家畜(牛)人工授精師資格の特定科目が免除されます。



4 大学編入

2年課程卒業生は、4年制大学編入試験を受験することができます。

講義科目

○教養科目(2年課程のみ)

幅広い分野の教養を身につけるとともに、読解力や表現力の向上を目指します。
経営戦略、時事問題、体育、統計・情報処理、生物、心理、郷土史、国語表現、英語

○共通専門科目

農業に関する基礎的な知識を学びます。

- ・2年課程 農業概論、農業法律、農業機械、土壌肥料、農業経営論、社会人基礎、農業簿記、農産物流通、農業気象、スマート農業、食品概論、食品各論・加工学、生物工学、基礎実験、農産加工実験、生物工学実験、農産物加工・販売研究、農業政策、経営研究、農業機械演習、毒劇物危険物取扱基礎演習、ゼミナール、農産物加工応用演習、有機農業経営研究
- ・1年課程 農業・流通・販売・食品関係法、農産物マーケティング論、農業概論、農業法律、農業経営論、GAP概論、食品加工実習、農業機械、土壌肥料、農業簿記、農業気象、食品概論、食品各論・加工学、農業機械演習、毒劇物危険物取扱基礎演習、スマート農業、作物育種

○専攻科目

各専攻の専門的な技術と知識を学びます。
実習、プロジェクト活動等(各専攻の専攻科目は専攻紹介に掲載しています。)

取得可能な資格等

- 大型特殊自動車(農耕車限定)免許
- けん引(農耕車限定)免許
- 危険物取扱者(乙種4類)
- 農業機械士
- 家畜(牛)人工授精師(酪農専攻のみ)
- 造園技能士(3級・2級)(植木造園専攻のみ)
- 2級造園施工管理技術検定(学科)(植木造園専攻のみ)
- 食品衛生責任者
- 玉掛け及び小型移動式クレーン取扱資格(1t未満)
- 小型車両系建設機械取扱資格(3t未満)
- フォークリフト運転技術者
- 高所作業車(10m未満)及びフルハーネス特別教育
- アーク溶接特別教育
- 伐木等作業従事者特別教育(チェーンソー)

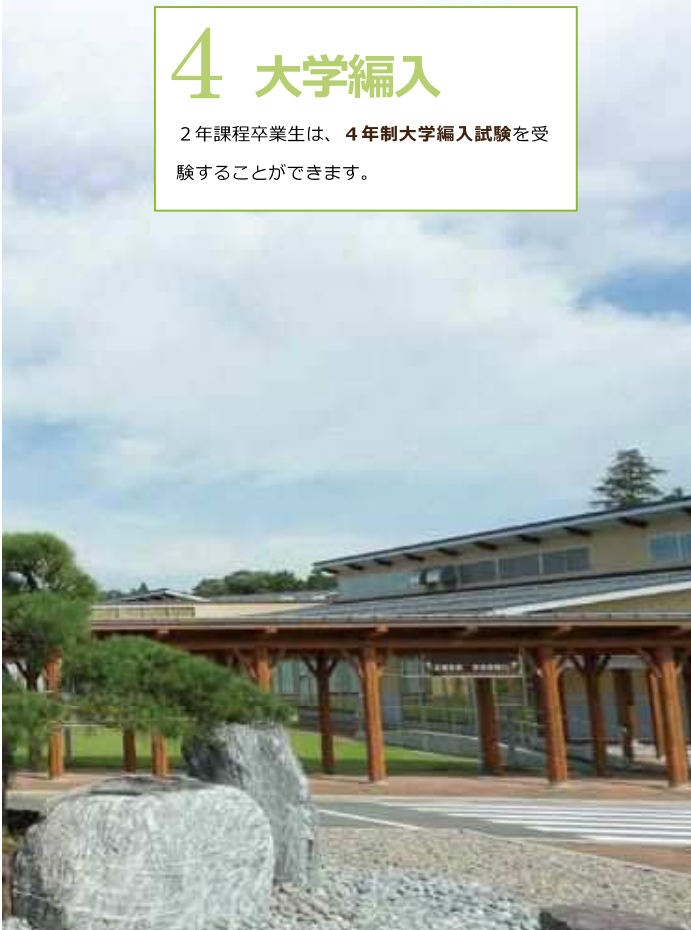
入学金無料

授業料 年額 118,800円

- 受験資格 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した方
- ※詳しくはホームページをご覧ください。

専攻紹介

2 年 課 程	野菜学科 定員 30名	
	施設栽培専攻 露地栽培専攻	
	水田複合学科 定員 5名	
	水田複合専攻	
2 年 課 程	花植木学科 定員 15名	
	花き専攻 植木造園専攻	
2 年 課 程	酪農学科 定員 5名	
	酪農専攻	
1 年 課 程	短期農業学科 定員 35名	
	短期野菜専攻 有機農業専攻	



夢の実現に向けて

実践力を習得する

専門実習

2年課程の1年次及び短期農業学科の学生は、実習を週3日、2年次は週2日行うほか、当番でも農作物や乳牛の管理を行い、実習を中心に、農業に対する基礎的な知識を身につけます。



体験から学ぶ

農家体験学習（2年課程）

1年生は希望者を対象に約1週間、2年生は全員が必修で9月～11月の約2か月間（実日数39日）、農家等のもとで実践学習を行います。

販売実習

校内の販売実習棟において、週2回、自分達が生産した農産物の直売を行い、販売の手法を学びます。

進路決定に向けたサポート

コース別学習

進路の希望に対応した①自営就農 ②農家子弟 ③就職就農 ④関連産業の4コースを設置

就農支援

就農相談会、「就農準備資金」説明会、「明日の農業担い手育成塾」説明会等の実施

キャリアサポート

キャリアコンサルタントによるGATB（職業適性検査）を活用したキャリアカウンセリング、自己分析、エントリーシートの作成、模擬面接の実施、ハローワーク職員による就職相談

合同法人説明会

農業法人及び農業関連産業の企業等を招いた合同説明会の実施

社会人マナー研修

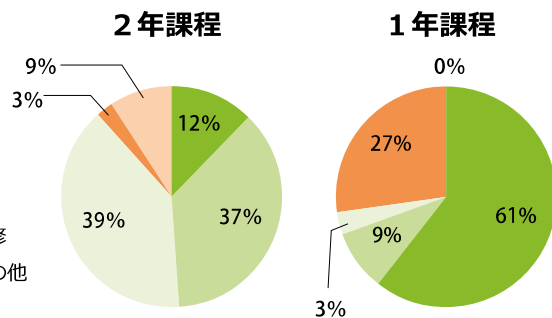
社会人に求められる接遇マナー（電話対応、名刺交換など）の研修



合同法人説明会

卒業後の進路

（令和3年～令和5年度）



主な就職就農先

(株)ヒロファーム
(株)しゅん・あぐり
(有)篠山堂
菜種開発(株)

(株)志村農園
(株)つばさグリーンファーム
(有)沃土会

農業関連産業就職先

(株)山屋青果市場
(株)トセキ関東甲信越
(株)小池勝次郎商店
J A 埼玉中央
(有)農研機構

ヤンマーアグリジャパン(株)
(株)関東甲信クボタ
J A さいたま
(有)家畜改良センター



専攻紹介

野菜学科



◆施設栽培専攻

温室等を利用して、きゅうり、トマト、いちごなどの果菜類を中心とした栽培技術及び経営について学習します。

主な学習内容

- (1)施設野菜、特に果菜類を中心とした基本的栽培技術及び経営管理技術
- (2)施設・装置の管理、機械の操作技術
- (3)かん水、施肥等についての技術
- (4)販売技術

主な専攻科目 施設野菜栽培、野菜機械施設、野菜経営・流通、専攻プロジェクト研究

◆露地栽培専攻

露地及びビニールハウスを利用して露地野菜の栽培技術及び経営、流通等について学習します。

主な学習内容

- (1)露地野菜（葉菜類・根菜類等）の基本的栽培技術及び経営技術
- (2)農業機械（トラクター・管理機等）の操作技術

主な専攻科目 露地野菜栽培、野菜機械施設、野菜経営・流通、専攻プロジェクト研究

花植木学科



◆花き専攻

施設を利用して、鉢物、花壇苗類・切り花の栽培技術及び経営について学習します。

主な学習内容

- (1)花きの基本的栽培技術及び経営管理技術
- (2)施設の管理、機械の操作技術
- (3)かん水、施肥等についての技術
- (4)販売技術

主な専攻科目 花き経営基礎、花き経営先進事例研究、専攻プロジェクト研究

◆植木造園専攻

造園に関する基礎技術と植木類の生産技術について、実習を通じて学習します。

主な学習内容

- (1)日本庭園や造園材料に関する基礎的知識
- (2)樹種に応じた整枝・剪定技術
- (3)竹垣、飛石、つくばい等の施工技術
- (4)植木類の生産・管理の基礎

主な専攻科目 庭園、造園施工、造園管理、専攻プロジェクト研究



水田複合 学科



◆水田複合専攻

水稲、小麦、大豆の主穀栽培技術と味噌加工技術及び食品衛生管理について学習します。

主な学習内容

- (1) 水稲、小麦、大豆の基本的栽培技術及び経営管理技術
- (2) 大型農業機械の操作技術と保守管理
- (3) 味噌加工技術の習得と食品衛生責任者資格

主な専攻科目 水田複合経営、主穀野菜栽培、主穀及び野菜流通加工、専攻プロジェクト研究

酪農学科



◆酪農専攻

乳牛の飼養管理や繁殖管理及び飼料作物の栽培・貯蔵技術など酪農経営の全般について学習します。

主な学習内容

- (1) 家畜(主に乳牛)の器官の名称や機能、繁殖理論及び技術
- (2) 家畜(主に乳牛)の飼養管理理論及び技術
- (3) 飼料作物の栽培・貯蔵技術
- (4) 酪農施設の管理、機械の操作技術

主な専攻科目 乳牛飼養、酪農施設、飼料作物、専攻プロジェクト研究

短期農業 学科



◆短期野菜専攻

野菜(露地・施設)の栽培方法、出荷調製方法、販売方法、農業経営について1年間学習します。

主な学習内容

- (1) 露地野菜及び施設野菜の基本的栽培技術
- (2) 経営管理の基礎

主な専攻科目 総合的病害虫管理、野菜栽培、野菜機械施設、野菜流通・経営、野菜基礎実習、専攻プロジェクト研究、経営分析演習



◆有機農業専攻

有機農業の基礎であるたい肥やぼかし肥づくりと輪作方法、出荷調製方法、販売方法について学習します。

主な学習内容

- (1) 露地野菜の栽培管理方法
- (2) 箱粹たい肥の作り方について
- (3) ぼかし肥料の作り方について
- (4) 踏込温床の作り方と育苗方法

主な専攻科目 有機農業経営研究、有機農業の土づくり、有機農業特別講義、有機農業技術概論、有機農業基礎実習、専攻プロジェクト研究、経営分析演習



キャンパスライフ

4月

入学式



入学式

6月

就農相談会
卒論中間発表会



農家体験学習



農家体験学習

8月

夏休み
農家体験学習
期末試験



実習風景



就農相談会

10月

4県対抗スポーツ大会
ドリームフェスタ
大学校祭



4県対抗スポーツ大会



ドリームフェスタ

12月

意見発表会
関東ブロックプロジェクト発表会



大学校祭



関東ブロックプロジェクト発表会

2月

期末試験
合同法人説明会
卒業論文発表会
卒業式



卒業論文発表会



卒業式



実習ほ場等の規模

◆センターゾーン

(講堂・事務棟・実験棟・ゼミ棟・交流棟)
メディアギャラリー・学生食堂・学生寮・販売実習棟)
木造、一部 RC・S造り
延床面積 7,753㎡

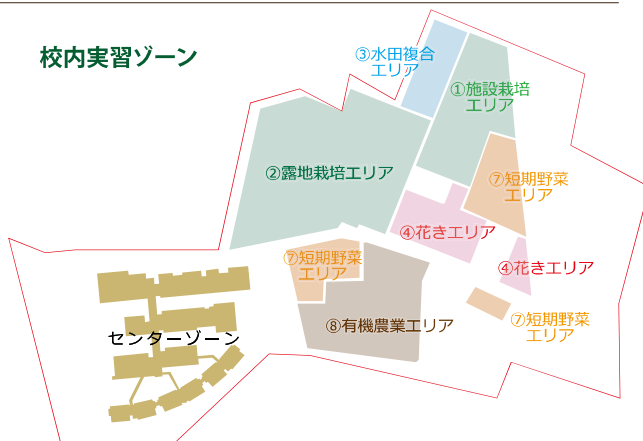
◆校内実習ゾーン①②③④⑦⑧

ほ場面積 28,783㎡
実習棟など 14棟
農業用ハウス 22棟 (9,111㎡)

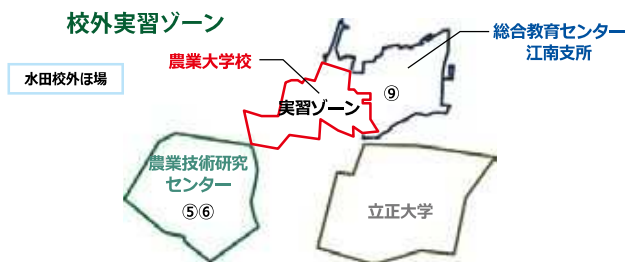
◆校外実習ゾーン⑤⑥⑨

農業技術研究センター内
総合教育センター 江南支所内
水田校外ほ場 4.3ha

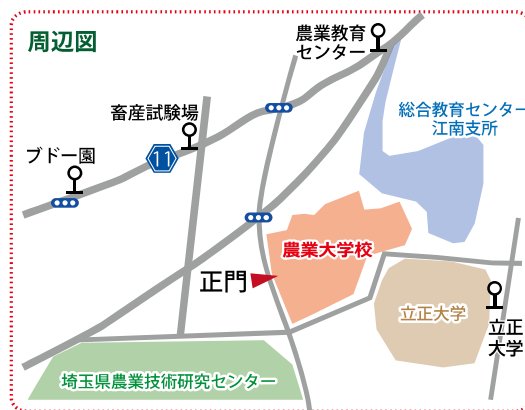
校内実習ゾーン



校外実習ゾーン



アクセス



- ・JR高崎線熊谷駅北口から「小川町駅」又は「県立循環器呼吸器病センター」ゆき 路線バス (畜産試験場下車 徒歩 5分)
- ・東武東上線小川町駅から「熊谷駅」ゆき 路線バス (畜産試験場下車 徒歩 5分)
- ・東武東上線森林公園駅から「立正大学」ゆき 路線バス (立正大学下車 徒歩 20分)

埼玉県農業大学校

TEL : 048-501-6845

〒360-0112 埼玉県熊谷市樋春 2010

URL <https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0921>

